

『こんな名前でもよかったね』

◇登場人物

- ・ 男1 (兼島)
- ・ 男2 (喜久山)
- ・ 男3 (志喜屋)

霊園。

3名、たくさんの墓石を覗き、書かれている俗名をチェックしている。

男1 あ！ あった！

男2 おー！（確認し）ほんとだ！ 秋山秋也（あきやまあきや）って。

男1 あ、でも微妙。

男3 なんでよ。

男1 これ個人墓じゃないやっさ。

男3 は、うそ？

男1 うり、見てみ？「秋山家の墓」って書いてあるさ。あとなんか隣に、奥さんっぽい人のあれ、名前。掘ってある。

男2 いいだろ別に、

男3 秋山冬美、

男1 どっちよ！

男2 なにがよ。

男1 秋か冬か、

男3 一〇月か十一月くらいだな、

男2 は？……ああ、

男1 ほか探さんとな。

男2 いいだろ別にこれで！

男1 ダメだろ。誰か冬美って、てなるだろ。

男2 絶対誰も気にしない。

男1 でも気持的に、なんかあれやんに？

男3 とりあえず持っていつてから決めればいいやんに？

男2 だあるな、

男1 いやでも、

男3 後で消せばいいさ。

男1 なにを、

男3 名前。冬美の、

男1 やーそれは冬美に失礼だろ、

男2 いいだろ別に、誰も冬美のこと知らんし、

男3 そもそも墓石盗もうしてる時点で失礼だろ。

男1 まあよ……

間

男2 とりあえず運ぶか。

男3 おう。

墓を倒して運ぶ。

(墓…男3)

男1 重!

男2 え、しにデブ!

男3 なんかデブって。

男2 一回下ろしていいか? 持ちづらいやっさ。

墓を下ろす。

立ち位置を微妙に変え、再度持つ。

(墓…男1)

男2 っていうかよ、なんで俺なんかこんなってからやらんといけんば?

男1 まあ、仕方ないやんに? 友達だし。

男2 でもよ……っていうか秋也がよ、なんか自分の将来のこととかちよつとは、なんかいろいろ自分で考えとけて感じてやんに、

男3 でも急だったし、

男2 ちがう、ちよつとは貯金しとけて話よ。やーの墓はやーで建てれっていう、

男1 うんまあ、でももうあれやんに? 仕方ないやんに?

男2 まあいいけどよ別に。

男3 でも、この手があったかかって感じだな。

男2 なにが?

男3 だって、タダですよ?お墓作るの。同姓同名の人探せば。

男1 作ってはないけどよ。ただ盗んでくるだけだからよ。でも確かに、効率はいいよな。

男2 でもそれ見つけるのがあんまさいだろ。実際これもどんだけ時間かかったば、っていう。金城とか比嘉とかそういうメジャーな苗字ならあれだけだよ、秋山つてまず沖繩に少ないさ、ナイチャーの苗字だから。っていうかちよつと下ろそう。

墓を下ろす。

男2 ちよつと休憩。

男1 早いだろ。

男2 やーちゃんと持ってたんだろ。

男1 だーるかや。しに持ってるよや。

男2 こっちしに重いからよ。

男1 じゃあ場所変わるか?

立ち位置を変え、墓を持つ。

(墓…男2)

男2 (男3に向かって) っていうか、やーとか無理だろ。

男3 なにが?

男2 同姓同名の墓探すとかよ、

男3 なんて、べつにだろ。

男2 綾小路源五郎とかって名前どこにいるば?

男3 いるだろ！

男2 いるかや！

男3 一人も？

男2 いない。

男3 は？

男1 調べた？

男2 いや。でもないだろ普通に、

男1 (男3に) あ、でもあれやんに？ 子どもとかに同じ名前つけられ

いやんに？ あるやつし外国とかでそういうのとか、

男3 ああ、なんとかジュニアみたいな？ 確かに、アメリカとかである

しな、ケン・グリフィー・ジュニアとかな。

男2 待って待って、いろいろ見失ってるやつさ、

男1 なにが？

男2 墓石盗むんだろ？

男3 うん、

男2 自分の子どものな？

男3 うん、

男2 おかしいだろ、

男3 なんですよ？ やーが「お前の同姓同名とか無理だろ」って言ったん

やつし。だから自分の子どもに同じ名前つけるって話だったんだろ？

男2 じゃあ子どもの方が先に死ぬってことか？

男3 ああ……そうなるな、

男2 じゃあその墓だれが建てるば？

間

男3 俺か……俺か？

男1 あ、でも、それも盗んでこればいいやんに？

男3 そうだな、

男1 同姓同名探せばいいだけだからな、

間

男2、呆れた表情を浮かべている。

下ろす。

男1

男1 なんですか？

男2 なんでもない。

男1 なに？ なんて怒ってるば？

男2 怒ってん。いいよもう、

間

持つ。

(墓…男1)

男3

男3 ……でもよかったやつさ、見つかって。

男1 なにが？

男3 墓、

男1 ああ、

男2 でも秋山秋也と違って名前つけんなって感じやんに？ あいつの

おとーおかーよ、

男1 なんですよ。

男2 大変やし探すの。だから俺思ったんだけどよ、キラキラネームとかあるさ、ああいうのよ、あんまりやめたほうがいいばーよな。なんかやつは普通だよ、王道の、王道っていうか、そういうやつのほうがいいと思うわけよ、名前つけるときは。

男3 源五郎とか。

男2 だーるかや！ どこが王道か。邪道だろ。

男3 人の名前邪道とか言うな、

男2 どういう神経してるば、やーの親よ。

男1 でも秋也って珍しいか？

男2 でも秋山と秋也の組み合わせってあれだろ。「あき」2回入ってるやし。

男1 「しゅうや」とかならオツケー？

男2 まあそうだな。

男3 あ！

墓を下ろす。

男2 なんか？

男3 まずいやっさ。

男2 なにが？

男3 だってよ、これよ、「しゅうや」かもしれないやんに？

男2 は？

男1 そっか、そしたら――

男2 待て待て、なんですよ！

男3 戻したほうがいいかもな、

男1 だあるな、

男1・3、墓を持ち上げようとする。

(墓…男2)

男2、止める。(持たれながら暴れる)

男2 落ち着け。

男1 どっちがよ！

男3 はやく戻さんと、

男2 え、バカなの？

男1 ……ダジャレ？

男2 なにがよ。

男1 「はか」と「ばか」で、

男2 ……いや、どっちでもいいだろ。

男1 え、「はか」と「ばか」じゃ全然――

男2 「しゅうや」も「あきや」も一緒だろ。

男3 は？ なに言ってるば？ 全然ちがうだろ。

男2 ちがうけど。でもいまは一緒だろ！ 見てみ？ルビふってあるか？
ないだろ？「あきや」か「しゅうや」かわからんだろ？ だからいい

わけよこれで。

男1 ああ、

男3 え、どういうこと？

男1 いや、わからんけど、

男2 いいばーよこれで。

男3 ……まあいいやじゃあ、

墓を持ち上げ、運ぶ。

(墓…男1)

男1 でも、大丈夫かな、

男3 わからんけど、でも帰ってから考えようぜ？ 冬美のこともあるし、

男1 忘れてた、冬美。

男3 思ったんだけどよ、結婚させればいいやんに？ 冬美と。

男2 は？ 誰を？

男3 秋也。

男1 ああ、そうだな、

男2 ……なんですよ、

男3 ……やー、バカだな。

男1 墓だけに、

男2 やったー死なすよ？ 秋也死んでるのに、どんなって結婚させる
ば？

男3 戸籍上で、

男1 したら、探さんとな、帰ったら。冬美な。

男3 だあるな、

男1 いいなあ、秋也なあ、いい友達やんに俺たち。

男3 マジだよ、羨ましいやつさ。

男2 ……俺はやったーが羨ましいやつさ

男1 なんですよ。

男2 いや、

男3 やーバカだからな、

などと話しながら、墓を運び去っていく。

照明 F・O

了